

深山の里の
伝統の技。

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS

広報 しら
たか

2.9
FEB 2016
NO.1178



歩み続けて一世紀―

百年目の寿



数え年で今年「100歳」を迎えられる11人の皆さんに、町から賀詞と御祝金が贈られました。これからも素敵な笑顔で、明るく元気に過ごしてください。



阿部よしのさん（荒砥乙）
大正6年9月30日生まれ



齋藤きよ志さん（横田尻）
大正6年5月14日生まれ



高木房子さん（荒砥甲）
大正6年11月6日生まれ



齋藤ていさん（箕和田）
大正6年6月23日生まれ



安部たかささん（下山）
大正6年3月7日生まれ



佐藤をきなさん（箕和田）
大正6年11月22日生まれ



梅津秀世さん（十王）
大正6年9月9日生まれ



伊藤ちうさん（中山）
大正6年3月15日生まれ



五十公野政太郎さん（十王）
大正6年11月30日生まれ



新野ふみよさん（荒砥甲）
大正6年9月18日生まれ



松野モンさん（荒砥甲）
大正6年4月15日生まれ

始まる。

—新荒砥橋架替工事着工—

白鷹町民の悲願であった荒砥橋の架替工事が1月7日に着工。着工を祝うとともに工事の安全と早期完成を祈念し、新荒砥橋建設促進期成同盟会と白鷹町の主催による記念式典が1月30日、あゆーむで開催されました。

式典には各界関係者約180人が出席。新荒砥橋建設促進期成同盟会会長の佐藤町長は、「町民一丸となって

早期実現を要望してきて、ようやくこの度の工事着工に至った」「新荒砥橋の供用開始のあかつきには、町民の皆さん全員が、笑顔で渡り初めができるように切に願っています」とあいさつしました。また、白鷹中学校2年の小林咲葉さんと、四季の郷で割烹「ひさご」を経営する馬場修さんが、新荒砥橋架替に対し次のように意見発表をしました。



1. 県の担当者から工事概要が詳しく説明された
2. 荒砥橋を渡りながら「新」荒砥橋ができていく様子を確認できる

● 意見発表 ●



小林咲葉さん
(白鷹中2年)

私は毎日、友達とたくさん話をして、楽しく学校生活を送っていて、白鷹中学校に通学できる喜びを実感しています。そして今、東中学校区と西中学校区をつなぐ架け橋のような荒砥橋が、もっと広く、強固なものになることを考えると、私は学校生活がもっと楽しみにになります。

また、新しい荒砥橋は町の活性化にもつながっていくと思います。そして、白鷹町の東西をつなぐ橋が大きくなることでさらに一体感が生まれ、白鷹町はよりよい町になるでしょう。

白鷹町がさらに発展していけるように、私たちもまた、力になっていければと思います。

荒砥橋の架替工事に伴う道路拡張で、当店が四季の郷へ移転して7年になります。当時は、お客様の後押しや関係者の皆様の温かい対応もあり、この地での商売を決心しました。

さて、白鷹町は、宮城県気仙沼市と新潟県栃尾地区と親交が深く、今でも交流が続いておりますが、どちらも地震が多い地域です。そこで白鷹町が、新荒砥橋で気仙沼と栃尾をつなぐことにより、災害に強い強力な体制ができあがるのではないのでしょうか。

そういった意味でも、荒砥橋の架け替えには我が町の将来がかかっていると思います。そして、町の果たす役割もそこに見出されてくるのではないのでしょうか。



馬場修さん
(割烹「ひさご」店主)

事業概要

荒砥橋は昭和32年の架橋から58年経過した老朽橋であり、幅員狭小のため、大型車同士のすれ違いが困難で、渋滞の原因になっています。加えて、冬期間には雪でさらに幅員が狭くなり、除雪時は片側交互通行を余儀なくされています。そのため、車道及び路肩を広く整備し、走行性及び安全性の向上を図り、また、歩道を両側に整備するものです。



(完成イメージ図)

【募集期限】 2月9日(火)～2月23日(火)

【意見の提出方法】

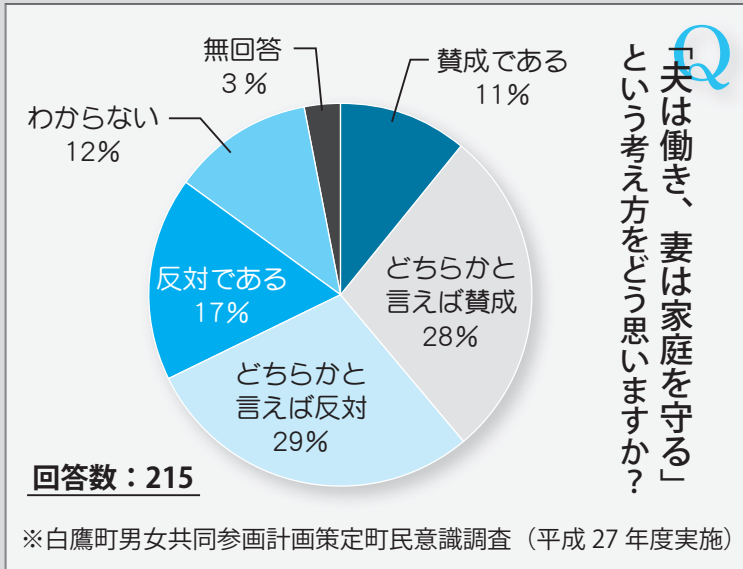
【メール】 kikaku@so.town.shirataka.yamagata.jp 【FAX】 85-2128

【郵送】 〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲 833番地 白鷹町企画政策課企画調整係

【問い合わせ】 企画政策課企画調整係 ☎85-6132

各計画(案)の詳細につきましては、各地区コミュニティセンターや中央公民館、町ホームページで公開しておりますのでご覧ください。

『白鷹町男女共同参画計画(案)』 中間報告



「夫は働き、妻は家庭を守る」という考え方をどう思いますか？

町では、平成13年度に県内市町村に先がけて男女共同参画計画を策定しました。そして今年度、女性活躍の推進、男女平等という考え方はもちろん、急速に人口減少が進行する現状を踏まえ、将来にわたり安心して子どもを生き育てられる環境づくりを進めるため、第2次の計画を策定してまいります。

本計画をより良いものとするため、皆様より意見をお聞きしたく、このたびパブリックコメントを実施します。

基本理念

「男(ひと)と女(ひと)とが互いに支え合い輝けるまち」

基本目標

I. 人権

「町民一人ひとりの人権を尊重する意識づくりと人づくり」

- 人権尊重意識の醸成
- 男女共同参画に関する教育・学習の推進
- 性別による固定的な役割分担意識の解消
- 町全体で「男女共同参画」について考える機会の創出

III. 地域づくり

「町民一人ひとりが共に手を携え参画する魅力あるまちづくり」

- 地域活動における男女共同参画の促進
- 意思決定の過程における男女共同参画の推進
- 高齢者・障がい者・外国人等の多様な人材の社会活動への参画促進

II. 仕事

「町民一人ひとりがいきいきと働くことのできる環境づくり」

- 関係法令の周知
- 女性の就業に対する適正評価と人材の登用
- 農業を含むあらゆる産業における女性の働きやすい環境づくり
- ハラスメントの防止及び対策
- ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場づくりの推進
- 男性の家事・育児・介護への参画への促進

IV. 安心

「町民一人ひとりが安全安心な生活ができる仕組みづくり」

- すべての町民に対するあらゆる暴力を防ぐ環境づくりの推進
- ライフステージに応じた町民の健康への支援
- 生活上様々な困難を抱える人々への支援
- 防災・災害対策の分野における男女共同参画の推進

皆様のご意見をお寄せください！ パブリックコメント募集

白鷹町過疎地域自立促進計画(H28～32)(案)

町では、過疎地域自立促進特別措置法が5年間延長されたことから、これまでの白鷹町過疎地域自立促進計画(平成22～27年度)を継承し、平成28年度から平成32年度までの計画を策定します。計画の基本方針となる第5次白鷹町総合計画に掲げる子育て・教育、雇用産業、地域課題解決や防災等の施策に取り組み、過疎からの脱却、そして自立を目指します。また、平成27年10月に策定しました白鷹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略を反映し、産業の活性化による雇用の創出や定住促進、子育て支援や教育、地域コミュニティの振興等による人口減少対策に力を入れていきます。

この計画の策定により、財政負担が少なく有利な財源である地方債「過疎債」の発行が可能となります。これまで、この「過疎債」を活用して、道路や学校、公共施設等の社会資本を整備してきました。平成22年度からは、建設事業等のハード事業だけでなく、子育て支援や人材育成などのソフト事業にも過疎地域自立促進特別事業として「過疎債」を活用できるようになりましたので、引き続き本制度を有効活用し、効果的な過疎対策を推進します。

このほど計画案がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

白鷹町過疎地域自立促進計画(H28～32)(案)の概要

人口の見通し…2020年(平成32年)目標：13,500人

1. 基本的な事項

- ① 白鷹町の概況 自然的、歴史的、社会的、経済的諸条件など
- ② 人口及び産業の推移と動向 人口の推移と今後の見通し、産業構造の変化、地域の経済的な立地特性
- ③ 行財政の状況 ア. 行政の状況 イ. 財政の状況 ウ. 主要公共施設整備水準の現況
- ④ 地域の自立促進の基本方針 白鷹町町民憲章、第5次白鷹町総合計画後期基本計画
白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョン
- ⑤ 計画期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5箇年

2. 産業の振興 農林業基盤整備、企業誘致、起業促進、商工業振興、観光拠点施設改修、6次産業化など
3. 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進 町道、農道、林道整備、デマンド交通運行など
4. 生活環境の整備 上下水道施設、廃棄物処理施設、消防分署・防災拠点施設整備など
5. 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進 高齢者福祉施設、児童福祉施設、認定こども園整備など
6. 医療の確保 医療機器整備、しらたか元気っ子事業(子ども医療費給付)など
7. 教育の振興 学校教育施設、集会施設・図書館(まちづくり複合施設)、体育施設整備など
8. 地域文化の振興等 文化交流センター地域文化創造事業、伝統芸能保存伝承事業など
9. 集落の整備 ふるさと移住推進プロジェクト、すまいる住まい！若者定住サポート事業等
10. その他地域の自立促進に関し必要な事項 エネルギープロジェクト事業

■過疎地域自立促進特別事業(代表的なソフト事業)

しらたか森林・林業再生プロジェクト▶ 再造林等の健全な森林育成と地域産材の利用循環モデルの構築
日本の紅(あか)をつくる町プロジェクト▶ 紅花生産日本一をテーマに交流推進、SHIRATAKA REDの展開
婚活★子育て応援プロジェクト▶ 結婚支援と子育ての切れ目ない支援体制の確立
すまいる住まい！若者定住サポート事業▶ 定住を希望する住宅取得者に対する助成
コミュニティセンター共創推進事業▶ コミュニティセンターを核とした地域づくり体制の確立

『白鷹町まちづくり複合施設基本設計』中間報告に対するパブリックコメントにご意見をいただきました。

問 企画政策課複合施設整備係 ☎87-0830

広報しらか及び町ホームページで実施した『白鷹町まちづくり複合施設基本設計』中間報告に対するパブリックコメントに貴重なご意見をいただきました。その内容とご意見に対する考え方をお知らせします。
(※ 関連のある意見のみ掲載させていただきました。)

【意見募集期間】 平成28年1月12日(火)～1月29日(金)
【意見の件数】 10人 23件

意見 民家の近くにバイオマスエネルギー棟の設置予定地があるが、騒音や振動等の影響を考慮しながら一定の距離をとって建設するようにしていただきたい。
回答 近隣の方々へは十分に配慮させていただきたいと考えております。

ます。ご意見いただいた内容については、今後とも設計者と協議し慎重に進めていきたいと考えております。

意見 県道長井白鷹線、仲町一町内の歩道整備が荒砥橋建設にもなう道路整備計画に該当する道路となっていることから、現在の道路から十分余裕を持った距離を確保のうえ建設してください。
回答 荒砥橋建設にもなう影響については確認をしているところです。今後の道路計画を踏まえ、一定の距離を持った建設を行いたいと考えております。

意見 和室はお茶室としても使用したいので床の間、水屋を設置してほしい。
回答 今後、利用用途もあわせて検討してまいります。

意見 白鷹町産の木材を最大限に活用できる事を願います。また林業、製材業等木に関わるお仕事が町内にできればと思っております。
回答 当施設へは町産木材の活用を最大限に活用するよう努めてまいります。また、今後の林業振興につくましてもあわせて取り組んでいきたいと考えております。

意見 町民ラウンジについて、展示スペースの確保、飲食のできるスペース、給湯設備、幼児用トイレの設置を望みます。
回答 町民会議の皆様からも同様の意見をいただいております。実施設計の中で検討していききたいと考えております。

意見 防災センターについて、風呂、シャワー室、給湯調理室を設置してほしい。
回答 設備については、実施設計の中で検討してまいります。

意見 防災センターに備蓄倉庫が必要ではないか。
回答 備蓄倉庫については、関連施設全体の中で設置について調整させていただきたいと考えております。

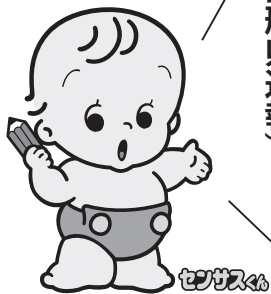
意見 施設内外で使用する用具などは白鷹産の木を使い、町内の技術者の力を合わせて作っていただければいいと思う。
回答 町内の技術者の皆様にご協力をいただきながら、町産材の活用を行っていききたいと考えます。

意見 大会議室を1階に図書館を2階設置してほしい。また旧中央公民館大ホールの規模の大きさ、

設備を備え、図書館については4人掛けのテーブルの設置をお願いしたい。
回答 大会議室、図書館の配置については、町民会議の議論においても町民の多くが利用する図書館を1階に設置していただきたい旨の要望により現在の配置になりました。また、大会議室については、現在の中央公民館機能と同規模を想定しており大ホールの規模までは想定しておりません。ホール機能については、他施設との役割分担を行いながら、既存施設を活用していききたいと考えております。図書館のテーブル等設備については、実施設計の中で検討してまいります。

意見 まちづくり複合施設は有事の際避難所として機能するもので敷地内禁煙でない限り防火の観点から喫煙所の指定が必要と思う。
回答 ご意見いただいた内容については今後検討させていただきます。と思います。

意見 他市町村に誇れる木造の施設建設を望みます。
回答 大変ありがとうございます。なるべく多くの白鷹町産木材を利用した町民に親しまれる施設建設にしていきたいと思っております。



国勢調査の結果です。
(山形県速報)

白鷹町の人口は 14,271 人

平成 27 年 10 月 1 日を基準日として行われました国勢調査では、町民の皆様のご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。
山形県速報で国勢調査の人口が公表されましたので、調査結果より平成 22 年と対比して各地区ごとの人口・世帯数等をお知らせいたします。

【県内の状況】

山形県の発表によると、県内の人口は 112 万 2957 人となり、平成 22 年の国勢調査人口と比較して 4 万 5967 人(3.9%減)減少しました。県内の市町村のうち人口が増えたのは東根市と天童市になっております。
県・置賜 3 市 5 町の人口は下表をご覧ください。

【町の人口及び世帯数】

白鷹町の人口は 1 万 4271 人、世帯数は 4433 世帯で、平成 22 年の国勢調査値と比べると、人口・世帯数ともに減少しており、人口は 1043 人減少(6.8%減)、世帯数は 32 世帯減少(0.7%減)しています。
1 世帯当たりの人員は 3.22 人で 0.21 人の減少となりました。
また、今回の調査はオンライン回答が導入され、全国では 36.9%、県では 34.5%、町では 43.9%(4433 世帯のうち 1948 世帯)がオンライン回答しました。

【山形県・置賜 3 市 5 町の人口】

単位：人

	平成 27 年	平成 22 年	増減	増減率	
山形県	1,122,957	1,168,924	▲ 45,967	▲ 3.9	
西置賜	白鷹町	14,271	15,314	▲ 1,043	▲ 6.8
	長井市	27,716	29,473	▲ 1,757	▲ 6.0
	小国町	7,869	8,862	▲ 993	▲ 11.2
	飯豊町	7,304	7,943	▲ 639	▲ 8.0
	東置賜	米沢市	86,010	89,401	▲ 3,391
南陽市		32,284	33,658	▲ 1,374	▲ 4.1
高島町		23,887	25,025	▲ 1,138	▲ 4.5
川西町		15,756	17,313	▲ 1,557	▲ 9.0

【人口】

単位：人

	平成 27 年	平成 22 年	増減
蚕桑地区	2,785	3,168	▲ 383
鮎貝地区	3,090	3,184	▲ 94
荒砥地区	3,382	3,554	▲ 172
十王地区	1,273	1,362	▲ 89
鷹山地区	1,184	1,291	▲ 107
東根地区	2,557	2,755	▲ 198
合計	14,271	15,314	▲ 1,043

【世帯】

単位：世帯

	平成 27 年	平成 22 年	増減
蚕桑地区	825	850	▲ 25
鮎貝地区	946	941	5
荒砥地区	1,133	1,139	▲ 6
十王地区	384	386	▲ 2
鷹山地区	372	382	▲ 10
東根地区	773	767	6
合計	4,433	4,465	▲ 32

※この数値は山形県速報値で、今後総務省統計局が公表する数値と異なる場合があります。

問 企画政策課情報係 ☎ 8 5 - 6 1 2 1

広告

九州・沖縄フェア開催!

2月1日~2月29日

※ ご宴会料理にご当地メニューの提供
オードブルプラン(2時間飲み放題付き)

5,000円(税・サービス料込)10名様以上

※ 和食処でもご当地メニューを提供
※ ご当地お土産コーナーを設置

鹿野湯温泉 **パレス松風**

お問合せ: 0238-85-1001
山形県西置賜郡白鷹町十王5687-8

パレス松風 早春のつどい

アトラクション 8 高玉芝居「花吹雪 情けの夜桜」

H28年2月28日(日) 17:00~

4,000円(税込)

飲物(アルコール、ジュース)・特製芝居弁当付き

前売券好評発売中!

あなたの意見で“しらか”は変わります。

審議会等委員募集

私たちが生活している町を住みよい町としていくためには、私たち自らがまちづくりに参画して知恵を出し合い、一つずつ行動に移していくことが必要です。その一つの方法として、協働のまちづくり条例では、町が設置するさまざまな審議会等の委員を選任するにあたり、自ら参画しようという方の募集について定めています。

今回は、次の各審議会等委員を募集します。

■問い合わせ 各審議会等の所管部署

◆各審議会等委員について

白鷹町環境審議会委員

町の良好な環境の保全と創造、環境基本計画に関することなどについて審議する機関です。

▼募集人員 3人

▼応募資格

- ①町内に住所を有し、応募時点で満25歳以上の方
- ②年2～4回程度開催される会議などに出席できる方

▼委員報酬 60000円/日

(会議時間が4時間未満の場合
は30000円/日)

▼所管部署 町民課くらし環境係
☎85-6123

白鷹町社会教育委員

社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じた意見を述べる機関です。

▼募集人員 2人

▼応募資格

- ①町内に住所を有し、応募時点で満25歳以上の方
- ②年5回程度の研修・会議などに出席できる方

▼委員報酬 1万60000円/年

▼所管部署 教育委員会生涯学習・文化振興係
☎85-6146

白鷹町文化財保護審議会委員

教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用について、調査審議する機関です。

▼募集人員 2人

▼応募資格

- ①町内に住所を有し、応募時点で満25歳以上の方
- ②年2～3回程度の会議などに出席できる方

▼委員報酬 1万60000円/年

▼所管部署 教育委員会生涯学習・文化振興係
☎85-6146

白鷹町病院事業等

運営委員会委員

病院事業管理者の諮問に応じ、病院事業等の運営に関して審議

する機関です。

▼募集人員 5人

▼応募資格

- ①町内に住所を有し、応募時点で満20歳以上の方
- ②病院事業等の経営に関心のある方
- ③年2～3回程度開催される会議などに出席できる方

▼委員報酬 60000円/日

(会議時間が4時間未満の場合
は30000円/日)

▼所管部署 町立病院事務局
☎85-2155

◆任期

平成28年4月1日から
平成30年3月31日まで

◆共通する応募資格

- (1)原則として、白鷹町の他の審議会等の委員でないこと
- (2)年間複数回開催される会議などに出席できる方
- (3)白鷹町の議員及び職員でないこと
- (4)次の基準を満たす方
- ①納税等(町税、各種負担金、使用料などを含む)の義務を果たしていること
- ②公民権を有していること
- ③破産者で復権を得ない者でないこと

◆応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、所管部署に提出してください。詳しい応募要項及び応募用紙は各所管部署に備えてあります。また、応募用紙は町ホームページからもダウンロードできます。

◆応募締切

3月1日(火)(当日消印有効)

◆選考方法

審議会等委員選考審査会で審査のうえ選考します。

◆審査結果

応募者全員に通知します。

◆その他

各審議会等の委員は町の非常勤特別職として任命されますので、白鷹町個人情報保護条例第3条第2項の適用を受けるとともに、同条例の規定に違反した場合(職務上知り得た個人の秘密を漏らした場合など)は罰則の対象となります。

「白鷹町美しい郷づくり推進会議」委員募集

町では、町環境基本計画を推進するため、白鷹町の住みよい美しい環境をともに考え、ともにつくる仲間を募集します。気軽に語り合いながら町が目指すべき環境像を実現していきましょう。

▼募集する委員の名称

白鷹町美しい郷づくり推進会議委員

▼組織構成

この会議は、ごみの減量化や地球温暖化対策及び環境基本計画の推進活動を行います。ごみ減量化対策を進めるうえで廃棄物減量等推進員も兼ねて委嘱し、活動を行っていただいています。

▼募集人員

5人程度（委員定数20人以内のうちの5人）

▼任期

平成28年4月1日から平成30年3月31日まで

▼応募資格

- (1) 町内に住所を有し、応募時点で満20歳以上の方
- (2) ごみの減量化やエネルギー、水環境等に関心のある方
- (3) 年6～8回程度の会議、啓発活動及びイベントなどに出席できること

(4) 白鷹町の議員及び職員でないこと

(5) 次の基準を満たしている方

① 納税等（町税等）の義務を果たしていること

② 公民権を有していること

③ 破産者で復権を得ない者でないこと

④ 成年被後見人、被保佐人、被補助人でないこと

⑤ 刑執行中の犯罪歴がないこと

▼応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、町民課に提出してください。応募用紙は町民課に備えてあります。また、町ホームページからもダウンロードできます。

▼応募締切

3月1日（火）（当日消印有効）

▼その他

「白鷹町審査会等委員選考に係る基準」を準用し審査のうえ選考し、審査結果を応募者全員に通知します。

■申し込み・問い合わせ

町民課くらし環境係
☎ 851-6131



婚活サポート委員募集！

若者たちの出会いを応援してみませんか？

未来を担う若者たちの力は町を元気にしてくれます。出会いや婚活を支援するサポート委員を募集します。

▶活動内容 結婚に関する相談、婚活支援、仲人活動等

▶任期 平成28年4月1日から平成30年3月31日まで

▶募集人員 15人程度

▶応募資格

- ① 町内に住所を有するか、町内出身の方で、応募時点で満20歳以上の方
 - ② 結婚支援に熱意と関心があり、ボランティアとして活動できる方
 - ③ 月1回程度の会議に出席できる方
- ※詳しくはお問い合わせください。

▶応募締切 3月1日（火）

▶応募方法 健康福祉課へご連絡いただくか、町ホームページをご覧ください。

▶その他 「白鷹町審査会等委員選考に係る基準」を準用し審査のうえ選考し、審査結果を応募者全員に通知します。

■申し込み・問い合わせ

健康福祉課子育て支援係 ☎ 86-0212

結婚にお悩みの方のための

婚活応援室

婚活サポート委員会では、「婚活応援室」として結婚相談を毎月開催しています。お気軽にご相談ください。

2月の開催日

2月17日（水）
午後4時～7時

3月の開催日

3月16日（水）
午後4時～7時

▶場所 健康福祉センター
2階相談室

▶相談料 無料

■問い合わせ

健康福祉課子育て支援係
☎ 86-0212

平成28年度からの学校給食について

調理等業務を民間に委託します

白鷹町では、町内小中学校の児童生徒等を対象に学校給食を提供しています。給食を食べる児童生徒からは、「おいしい」「あのメニューが楽しみ」などの声が聞かれ、たいへん好評をいただいております。

学校給食の提供については、これまで、町職員で調理し各学校へお届けしてきましたが、第4次行財政改革大綱に掲げている地域資源としての農産物のさらなる活用と、地域経済の活性化や新たな雇用の創出、行政コストの削減など、地域経

済循環のシステム化を図るため、平成28年4月より学校給食共同調理場業務を民間に委託することとしています。第1期の委託事業者は、一般財団法人白鷹町アルカディア財団で、委託期間は平成31年3月31日までの3年間です。

平成28年4月以降の業務がスムーズに引き継がれるようにするため、今年度の給食は町の調理師4人と白鷹町アルカディア財団の職員で毎日作っています。引き続き、おいしく、安心安全な給食を提供していくために、皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

今までと何が変わるの?

「引き続き町(設置者)が行うもの」と「委託する業務」の区分

引き続き町(設置者)が行うもの

施設・設備の管理、給食会計、一般事務、献立の作成や食材の検収、調理の指示、調理物の検査

委託する業務

食材の発注(地産地消推進における地元産食材の調達率や一部食材の購入指定などの条件付)、調理作業、配缶、配送、回収、洗浄、保管、消毒、清掃、ボイラー管理、附帯事務



給食内容の確認や評価について

給食内容の確認や評価については、学校給食共同調理場運営委員会等で引き続き行います。

保護者の皆様から負担いただきました給食費で献立を作成し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進はもちろん、児童生徒の皆さんに楽しみにしていただける給食の提供を心がけています。

なお、学校給食についてのお問い合わせ等は、共同調理場までお願いいたします。

給食の内容について

献立作成や調理物の検査は引き続き栄養教諭が行いますので、提供する給食のおいしさや品質等はこれまでと変わりません。また、通常の給食の他に、好評を得ている年1回のバイキング給食(対象は各小学校6年生)、年8回程度のリクエスト給食、年5回程度のセレクト給食、年1回の白鷹 FOOD 恵みの日などのイベント給食を引き続き実施します。

なお、アレルギー対応食の提供も引き続き実施します。

給食費について

保護者の皆様からお預かりした給食費は、食材代のみに使われます。また、給食会計の運営は、引き続き町が行います。現在、小学校1食262円、中学校1食304円で給食を提供しています。



空き家問題にストップ！



【問い合わせ】

白鷹町空き家対策ネットワーク協議会事務局
〒992-0832 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙1027番地の35
☎85-2540 [FAX]85-3054 [Eメール] moriya-k@amber.plala.or.jp

空き家バンクって知っていますか？

「空き家バンク」とは、登録した空き家を買いたい方や、借りたい方に紹介する取り組みです。

住宅は、人が住まなくなると早く老朽化するといわれています。そこで、空き家を住めるうちに流通させることにより、放置空き家の解消や適正管理の促進を図ります。

白鷹町では、町内空き家の増加、若者世代や移住者の住まいに関する相談の増加に対応するため、町内事業者と協議を行い、町内の不動産業者で組織する「白鷹町空き家対策ネットワーク協議会」が空き家バンクを運営することとなりました。



現在、町内では6件の空き家が空き家バンクに登録されている

空き家を貸したい方 空き家を売りたい方

空き家バンクに登録することで、住宅をお探しの方に対して、広く情報提供を行う事ができます。

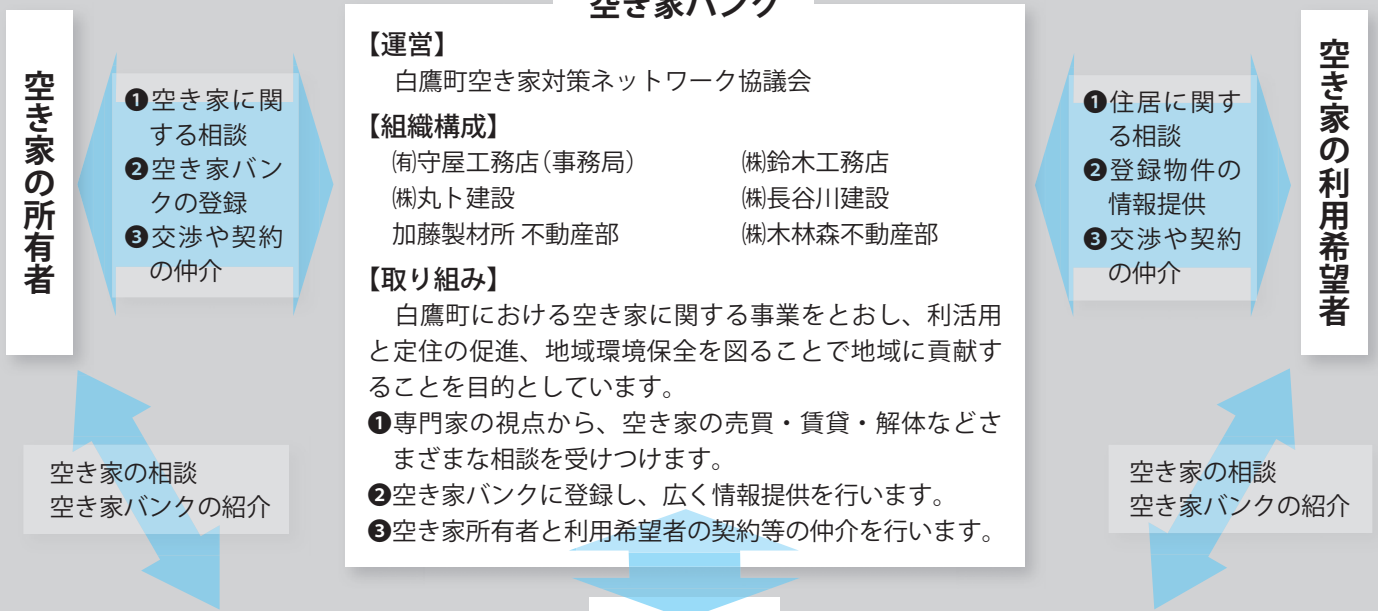
※登録のための様式は、ホームページまたは事務局にお問い合わせください。

(注) 空き家バンクの登録は、住むことができる住居のみとなりますので、土地のみの登録はできません。

お住まいをお探しの方

空き家物件掲載ホームページ（「田舎暮らし」白鷹町一白鷹で暮らしそう」<http://shirataka-jij.jp/>）または協議会へのお問い合わせから空き家情報を見ることができます。

白鷹町空き家バンクの仕組み



空き家バンク

【運営】

白鷹町空き家対策ネットワーク協議会

【組織構成】

(有)守屋工務店(事務局)	(株)鈴木工務店
(株)丸ト建設	(株)長谷川建設
加藤製材所 不動産部	(株)木林森 不動産部

【取り組み】

白鷹町における空き家に関する事業とおし、利活用と定住の促進、地域環境保全を図ることで地域に貢献することを目的としています。

- ① 専門家の視点から、空き家の売買・賃貸・解体などさまざまな相談を受けつけます。
- ② 空き家バンクに登録し、広く情報提供を行います。
- ③ 空き家所有者と利用希望者の契約等の仲介を行います。

白鷹町

- 移住交流施策として、移住者の住まい探しで空き家バンクを紹介していきます。
- 山形県の住宅リフォーム支援事業や空き家利活用支援事業の紹介と手続きの協力を行います。
- 「特定空家」対策を担当します。

白鷹町スポーツ振興懇談会／白鷹町体育協会表彰式

◆功労賞

横山一夫さん(町ソフトボール協会会長)

関 英男さん(町グラウンドゴルフ協会会長)

◆指導功績賞

寒河江常智さん(空手道・和道愛好会)

◆殊勲賞

上村栞風さん(陸上/鮎貝小6年・白鷹西陸上)

廣居千尋さん(陸上/鮎貝小6年・白鷹西陸上)

高橋翔馬さん(バドミントン/白鷹中2年)

安達桂子さん(陸上/九里アスリートクラブ)

青木順一さん(水泳/山形中央高3年)

長谷部陽香さん(ソフトボール/上山明新館高3年)

村上魁人さん(バスケットボール/山形南高3年)

◆栄光賞

菅 守継さん(ソフトボール/南陽高3年)

竹田 快さん(ソフトボール/南陽高3年)

佐藤功基さん(ソフトボール/南陽高2年)

新野右京さん(ソフトボール/南陽高2年)

横澤史鷹さん(ソフトボール/南陽高2年)

板垣翔斐さん(ソフトボール/南陽高1年)



白鷹町スポーツ振興懇談会が1月16日、パレス松風で開催されました。この日は『子どもたちが力を発揮するために大切なこと』と題して、フィットネスアドバイザー等の資格を持つ秋葉早緒さんによる記念講演が行われ、指導者をはじめとする出席者の皆さんは、実際に体を動かしながら運動の効果を感じました。また、町のスポーツ振興にご尽力された方と、平成27年度に輝かしい功績を残された方に対して表彰が行われ、受賞者を代表し、九里アスリートクラブ所属の安達桂子さんが「皆さんの支えがあるから頑張ることができたい」と活躍することで恩返しをしたい」と感謝の意を述べました。

白鷹町芸術文化協会「新春のつどい」



◆芸術文化賞

時田 進さん(白鷹金剛会)

橋本善助さん(白鷹吟友会)

山口恵子さん(白鷹俳句会「まんさく」)

◆奨励賞

新野トシ子さん(民踊けんこう教室)

齋藤みさをさん(白鷹民踊愛好会)

◆感謝状

(故) 田中五郎さん(侃鸞会白鷹支部)

1月17日、パレス松風において、白鷹町芸術文化協会「新春のつどい」が開催されました。この日は会員など約120人が出席。平成27年度の経過報告に引き続き、芸術文化の振興に功績のあった6人に表彰が行われました。白鷹町芸術文化協会の伊藤久志会長は「経糸(たていと)と緯糸(よこいと)がきれいに組み合わせられてできる白鷹紬のように、それぞれの団体が協力し合って、素晴らしい芸術や新しい文化をつくり上げてほしい」とあいさつ。式典後には会員同士の交流会が行われ、



新春を祝う白鷹花柳会による「祝舞」

れ、互いの活動やこれからの抱負などで会話に花が咲きました。

「隠れ蕎麦屋の里」しらたか 新そばキャンペーン

たくさんのご応募ありがとうございました

昨年11月から12月に町内の隠れ蕎麦屋4店舗にて開催した“新そばキャンペーン2015”には、昨年度を500通ほど上回る3,111通のご応募をいただき、誠にありがとうございます。

そば無料券や米沢牛、つや姫、あかすももワイン、漬物や町内銘菓など、総勢100名様に当たる特産品プレゼント当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

町内はもとより、遠方からも多くの方にお越しいただきました。今後もしらたかのそばをどうぞお楽しみください。

新そばキャンペーン集計結果より

▼応募地域割合

	応募数	割合
白鷹町内	410	13%
置賜 (町内除く)	708	23%
村山	849	27%
最上・庄内	85	3%
宮城県	455	15%
東北・新潟 (宮城除く)	301	10%
関東	253	8%
その他	50	2%
合計	3,111	100%

▼年齢割合

	全体	割合
0-10代	103	3%
20代	157	5%
30代	296	10%
40代	412	13%
50代	645	21%
60代	871	28%
70代	384	12%
80代以上	116	4%
不明	127	4%
合計	3,111	100%



▲イベント等の企画もしてみたいと意気込む遠藤さん

白鷹町で2人目となる「地域おこし協力隊」の隊員として、福島県白河市出身の遠藤真弓さんが、1月15日付で町長から委嘱されました。委嘱期間は最大3年間です。

小学校の中学年から神奈川県横浜市で育ったという遠藤さん。「以前から木や山に興味があり、田舎での生活にあこがれていた」と話し、「写真を撮ることも好きなので、季節を通して町のいろんな表情を切り取っていききたい」と目を輝かせました。

今後は、荒れた里山の再生や地域経済の活性化を目指す「しらたか木の駅プロジェクト」の事務所を拠点に、同プロジェクトや「最上川森の健康診断」などの事業支援を行っていく予定です。

「地域おこし協力隊」に遠藤真弓さんが着任

人権擁護委員の委嘱について

1月1日より、人権擁護委員として新たに嶋林淳子さんが法務大臣から委嘱されました。委嘱期間は3年間です。

【町の人権擁護委員】

高橋武夫さん(高玉)
芳賀健治郎さん(鮎貝)
嶋林淳子さん(荒砥) ※新任
鈴木和夫さん(十王)
鈴木成子さん(中山)
遠藤啓子さん(広野)

■問い合わせ 町民課くらし環境係
☎ 86-6131

これまでの活動に感謝状

12月で人権擁護委員を退任された蒲生成子さん(荒砥)に、法務大臣と町長より感謝状が贈られました。



山形県中学生バスケットボール選手権大会決勝大会 白鷹中学校男子バスケットボール部が優勝

山形県中学生バスケットボール選手権大会決勝大会が1月16日と17日に開催され、白鷹中学校男子バスケットボール部が見事優勝を果たしました。

白鷹中学校は予選リーグを組1位で通過すると、決勝トーナメントを順当に勝ち上がり、決勝戦では上山南中学校を相手に56対46で勝利。置賜の中学校バスケットボールの歴史にその名を刻みました。蹄翔太主将は「年末年始に出場した大会で、全国レベル・東北レベルの戦いを経験したことがプレーに生きた」と勝利の要因を話し、「今日の結果を目標である全国大会への第一歩と考え、ここでとどまることなくこれからも練習に励んでいきたい」とチームのさらなる躍進を誓いました。



置賜地区ソフトボール技術講習会 目指すは全国！そしてその先へ

1月10日、11日の2日間にわたり、ソフトボール技術講習会実行委員会の主催による「置賜地区ソフトボール技術講習会」が開催されました。

この講習会は、平成29年度に山形県で開催される全国高校総体に向け、ソフトボール競技における投手、守備、打者の基礎から応用技術、練習方法を習得することを目的としたもの。白鷹町及び長井市が競技会場となることから、この日は荒砥高校、長井高校、長井工業高校、そして白鷹町出身選手の所属する米沢中央高校、さらには白鷹中学校から合わせて約50人が参加。選手たちは、ボールの投げ方、バッティング、体幹トレーニングなど、講師の先生から細かい部分まで指導を受けながら、何度も自分の動きを確認していました。米沢中央高校ソフトボール部に所属する今野りおさん（白鷹西中出身）と青木菜々さん（白鷹東中出身）は、「地元の皆さんに成長している姿を見せたい」「中学校のときから練習や試合で使ってきた馴染みの場所なので、絶対に出場したい」と熱い気持ちを言葉にしました。



信じよう。スポーツの力を。



©©©© BIG toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。

新たな年に期待を込めて 白鷹町新春賀詞交歓会

1月4日、J A山形おきたま白鷹支店を会場に「新春賀詞交歓会」が盛大に開催されました。

この賀詞交歓会は、新春を寿（ことほ）ぎ、町勢の一層の伸展を祈念することを目的とした催しであり、白鷹町での開催は初。産業振興戦略会議を構成している、白鷹町、商工会、J A山形おきたま、山形県酪農業協同組合、観光協会、一般財団法人白鷹町アルカディア財団を中心に実行委員会を組織し、準備が進められてきました。

この日は、町長をはじめ、町内外各界から約180人が出席。新年のあいさつを交わすとともに、町の現状、課題に目を向け、2016年の飛躍を誓い合いました。



文化財防火デー 地域の宝を守るのは、地域の力

1月26日の「文化財防火デー（※）」に合わせ、1月24日に深山観音堂で防火訓練、26日に鮎貝八幡宮で防火祈願祭が行われました。

雪の降りしきる中で行われた深山観音堂での防火訓練には、深山観音堂自衛消防隊、深山区消防団、消防白鷹分署から合わせて約30人が参加。訓練は観音堂の火災報知機が作動するところから開始され、119番への通報、隊員への出動命令、放水、撤収までをすばやく行うとともに、その一連の流れをしっかりと確認しました。地域の宝は、こうして地域の皆さんによって守られ、後世へと伝えられていきます。

（※）文化財防火デー…昭和24年の1月26日に、世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づき定められました。



願わくは無益息災・五穀豊穡 町内各地でヤハハエロ



1月10日から11日にかけて、町内各地でヤハハエロ（さいとう焼き）（※）が行われました。

各地区ごと正月に飾られた松や古いお札などが集められ、わらなどを使って斎塔（さいとう）を準備。ほとんど雪のない今年は、火の燃え移りなどがなく各地区消防団が例年以上に注意を呼びかけました。そして、日も暮れて辺りが真っ暗になったところに点火。集まった地域の人たちは天高く燃え盛る炎を見つめ、人の輪の中から「ヤハハエロ～」と掛け声が飛ぶと、それに続いて各々が、今年一年良い年であるよう願いを込めて「ヤハハエロ～」と続けました。

（※）ヤハハエロ（さいとう焼き）…昔から行われてきた、無病息災・五穀豊穡を願う小正月の行事。



荒砥高校新入生を応援します！

町では、荒砥高校に入学される生徒の皆さんを応援し、荒砥高校のさらなる発展や魅力アップを願い、様々な事業を通じて町を挙げてサポートしています。

サポートその1

荒砥高校新入生応援プロジェクト

町では、「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」をめざしています。町の将来を担う高校生には、充実した高校生活を送り、めざす進路を実現してほしいという願いから、荒砥高校に入学される皆さんを応援します。

荒砥高校新入生に

応援券 7 万円分を助成します。

新たに入学される皆さんに、制服・教科書・運動着・通学定期券等の購入費用の一部を支援します。

サポートその2

介護職員初任者研修資格取得支援

白鷹町社会福祉協議会が実施する研修を受講し、介護の仕事の入門とされている資格を取得することができます。講義のほか、介護の現場で活躍する職員から、実践的な演習を受講することができます。専門知識を習得するだけでなく「講座を通じて成長した自分を実感できる」と好評です。

荒砥高校の生徒が受講する場合

受講料を**町が支援**します。

荒砥高校は…

小規模校の特性を生かし、生徒一人ひとりを認めて伸ばす教育を実践しています。また、学校をあげてボランティア活動や地域活動に参加するなど、地域との連携のもと、生徒の実践的な活動を通じた学びを大切にしています。

【問い合わせ】

荒砥高校をサポートする会
事務局／企画政策課企画調整係
☎ 8 5 - 6 1 2 3

荒高掲示板

～県立荒砥高等学校～

平成 27 年度から 28 年度へ

— 総合学科完成から次のステップへ —

《文理総合系列》

【特徴】 5教科の科目を中心に選択し、幅広い学力を身につける。

【目指す資格】 漢字検定 2 級、数学検定 2 級、英語検定 2 級 など

【卒業後】 4 年制大学への進学、短期大学への進学、看護・医療系への進学、公務員

《福祉・生活系列》

【特徴】 福祉や家庭系科目を多く選択し、基礎的な知識や技術を身につける。

【目指す資格】 介護職員初任者研修（白鷹町）受講（※旧ホームヘルパー 2 級）、保育技術検定 3 級、日本赤十字救急法救急員、食物検定 2 級

【卒業後】 福祉施設への就職、福祉系専門学校への進学

《ビジネス・教養系列》

【特徴】 ビジネス系科目を多く選択し、実務的な知識・技術を学ぶとともに、基礎的・基本的学力を高める。

【目指す資格】 情報処理検定 2 級、ビジネス文書実務検定 1・2 級、珠算電卓実務検定 3 級

【卒業後】 地元企業への就職、専門学校への進学

平成 27 年度も残すところあと 1 ヶ月あまりとなりました。今年度は 1、2、3 年と総合学科がそろい、総合学科完成の年度でした。リニューアルした本校ホームページでもお知らせしていますが、平成 28 年度からは系列名称と中身が変わります。

総合学科としてはまだ歴史が浅く、荒砥高校の総合学科をより魅力ある学科にするために、系列名称だけでなく教育課程（学べる科目など）全体を見直しました。これにより、系列ごとの目的をより明確にし、その実現を図るために科目の設定や配置を改善しました。新しい教育課程は平成 28 年度入学生（現中学 3 年生）から適用されます。

系列名称を変更したのはその一環で、学べる内容や進路をよりイメージしやすい名称にしました。詳しくはホームページの Q & A をご覧ください。

就職希望者にはこれまで通り手厚い指導と内定率 100% を目指し、さらに上級学校進学志望者には 2 年次 3 学期からの添削指導や講習などで専門学校・短大はもとより、4 年生大学への志望達成にも備えます。さまざまな行事を計画し、ボランティアで社会貢献・視野拡大、部活動で汗をかき、地域に貢献する社会人の育成を目指します。

地域の皆さんのご協力、ご理解に感謝するとともに、次年度もバックアップをよろしくお願いいたします。

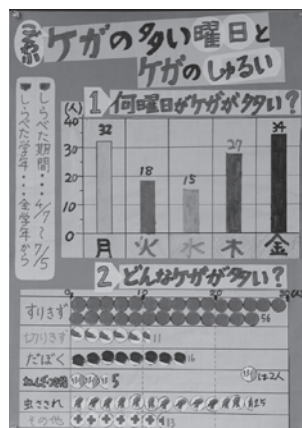


『子どもいっぱいほしい』

- 年長児 A 男 「僕、大人になったら子どもいっぱいほしい」
- 年長児 B 男 「俺はこどもいらね」
- 年長児 A 男 「なんで！かわいいのに」
- 年長児 B 男 「だって、かみなりなると、すぐ泣くもん」
- 年長児 A 男 「そういう時は、よしよしてすると大丈夫だよ！」

第65回山形県統計グラフコンクール

山形県統計協会と山形県の主催による、山形県統計グラフコンクールにおいて、蚕桑小学校 3 年生の作品が入選しました。



【入選】 「こぐわ小 ケガの多い曜日とケガのしゅるい」
蚕桑小学校 3 年生（今野正就くん、新野葵くん、丸川裕太くん、湯澤一徳くん、大久保瑚花さん）

町への寄附に感謝

東北電力株式会社社長井営業所 様

1月12日、東北電力株式会社社長井営業所様より、LED灯を町に寄贈いただきました。

交通安全と事故防止のために、町内各所に設置させていただきました。

ありがとうございます。



白鷹ロータリークラブ 様

白鷹ロータリークラブ（岡崎鹿造会長）様より、町の発展のために使ってほしいと、町に8万円を寄附いただきました。これからのまちづくりのために有効に使わせていただきます。

ありがとうございます。

支出日	区分	支出額(円)	内 容	支出日	区分	出額(円)	内 容
1月 5日	香典	30,000	社会福祉法人長井福祉会前理事長弔慰金	1月 15日	御祝	3,000	防火祈願祭
1月 7日	御祝	3,200	鮎貝八幡宮歳旦祭	1月 18日	御祝	3,000	新春建設事業懇談会
	御祝	3,300	荒砥八幡神社歳旦祭	1月 19日	香典	10,000	元職員弔慰金
1月 12日	御祝	5,000	白鷹町酪農組合新春交流会		香典	10,000	元職員弔慰金
	御祝	5,000	白鷹きらやか会新春懇談会	1月 20日	御祝	3,000	白鷹町青申会定時総会
1月 13日	香典	10,000	県知事ご親族弔慰金	1月 28日	贈答品	5,115	重要事業要望
1月 15日	贈答品	19,800	重要事業要望	1月 29日	御祝	3,300	あゆ茶屋をめぐり見る会新年会
					計	113,715	

町長の主な動静

1月

月 日	行 事 名
1月 4日	仕事始めの式
	白鷹町新春賀詞交歓会
1月 7日	まちづくり複合施設等整備特別委員会
	白鷹ロータリークラブ新年会
1月 9日	蚕桑地区新春のつどい
	十王地区新春懇談会
	消防団最高幹部交流会
1月 10日	鮎貝地区新春懇談会
1月 12日	東北電力株式会社社長井営業所 LED 灯贈呈式
1月 13日	白鷹町環境審議会
1月 14日	新年度予算町長査定 ～ 20 日まで
	白鷹町酪農組合新春交流会
	男女共同参画計画策定委員会
1月 15日	地域おこし協力隊委嘱式
	定例課長会
	白鷹町人権擁護委員感謝状贈呈式
	白鷹町保育協議会「保育を語る会」

1月

町長交際費

月 日	行 事 名
1月 16日	白鷹町スポーツ振興懇談会
1月 17日	白鷹町芸術文化協会新春のつどい
1月 19日	山形県町村会総務委員会
1月 21日	白鷹きらやか会新春懇談会
1月 22日	重要事業要望（東京都）
1月 25日	農業委員会新春懇談会
1月 26日	臨時課長会
	町振興審議会
	山形県林政推進町村長懇談会新春林政講演会
1月 27日	あゆ茶屋をめぐり見る会新年会
1月 28日	議会運営委員会
	平成 28 年第1回白鷹町議会臨時会
1月 29日	西置賜建設業協会新春建設事業懇談会
1月 29日	置賜地方首長議長懇談会
1月 30日	新荒砥橋架替工事着工記念式典

第2次白鷹町健康増進計画 元気ニコニコしらたか21

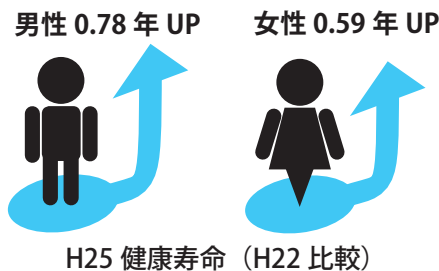
GENKINIKONIKOSHIRATAKA 21

私たちがいつまでも自分らしく、生きがいもち、心豊かに暮らしていくためには、健康寿命（日常生活に制限のない期間）を延ばすことが重要です。今回は、最新の現状から『素敵に年を重ねる高齢期の健康づくり』について、食事や活動（運動）など、生活の中で気をつけたいポイントをお知らせいたします。

からだところの健康づくり

1. 平均寿命と健康寿命

第2次健康増進計画の中では、生活習慣病予防と重症化予防や介護予防に取り組むことで、健康寿命の延伸を目指しています。国の統計から平成22年からの3年間で健康寿命は、男性が0.78年、女性が0.59年伸び、平均寿命の伸びを上回ったことがわかりました。



2. 介護と死亡の状況

表1 介護が必要になった原因

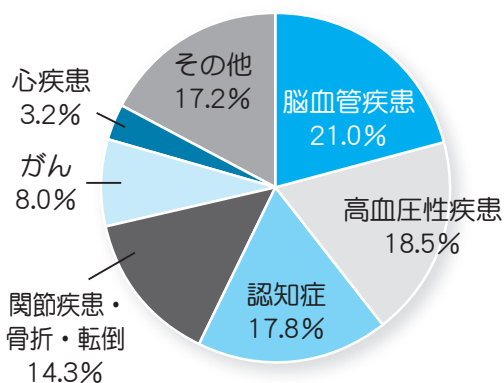


表2 死因別死亡率 ※人口10万人対

	町		県	国
	H20	H25	H25	H25
がん	344.6	375.3	353.4	290.3
心疾患	172.3	272.9	204.7	156.5
脳血管疾患	338.2	136.5	152.1	94.1
※呼吸器系の疾患	242.5	348.0	216.4	162.0

人口動態統計、山形県保健福祉統計

※人口10万対…人口10万人あたり

※呼吸器系の疾患…肺炎、慢性閉塞性肺疾患(COPD)など

表1より、介護が必要になった原因は脳血管疾患が最も多く、次いで高血圧性疾患、認知症となっています。中でも65歳未満は6割以上が脳血管疾患によって介護が必要な状態になっています。

表2より、年によって変動がありますが、町の死亡率は、5年前に比べると心疾患で高く、脳血管疾患で低くなりました。死因に占める生活習慣病の割合は約5割と低くなっています。一方、肺炎や慢性閉塞性肺疾患などによる死亡が増えています。

3. 素敵に年を重ねる生活のポイント

上記1、2より、早い段階から生活習慣病を予防することが介護予防につながり、いつまでも元気で過ごすための方法になることがわかりました。あわせて、予防接種による肺炎予防や禁煙によるCOPD予防も大切です。

- ▶ ふれあいサロンなどの地域の取組に積極的に参加しましょう
- ▶ 健康診断を受けて自分の体の状態を知り、その後の生活にいかしましょう
- ▶ 案内が届いたら予防接種を受けましょう
- ▶ 自分に合った運動と主食・主菜・副菜をそろえた食事、禁煙を心がけましょう



いつまでも元気な毎日を

明日の福枕に託し床につく
 福島の塩屋に響くみだれ髪
 五郎丸のポーズまねて福引かな
 福の神宿れば長寿証しなり
 寒中耐え桜前線福の花
 福の神待つてる人を通り過ぎ
 福々しい顔にしつかり笑い皺
 謎秘めて脇で微笑む福祿寿
 福引のために買ったすいらぬもの
 平輪をしつかり刻んで福を呼ぶ
 初孫は大きな餅で福をよぶ
 福笑い今年は上手く出きたかな
 福よこい晴れの夕暮れ西山に
 節分の主役は曾孫たち福をよぶ
 毎日を笑み心がけ福来たる
 春光の雪解け庭に福寿草
 幸福を求め人生歩んでく
 福よこい疫病神を追っ払え
 福の神当選願い夢を買う
 七転び八起天じて福となり
 破魔弓に願ひ託して福を待つ
 ぜん意の心前に進んで福と会う
 福引で今日は当たると気合い入れ
 長らえて孫の笑顔に福を見る
 三世代笑顔の仲に福も舞う
 福の神迷いこんでよ宝くじ
 福と福書くだけでも楽しみや
 福呼ぶと言う一枚を買ってみる
 薪を割る肩のあたりの福の神
 運だめし引いておみくじ福笑い
 一年間福は何処かと夢を追ひ
 むずかしい大福様の福おどり
 福笑い皆んなの顔がにこやかに
 福耳も所詮は主の汗次第
 厳寒から春を告げてる福寿草
 福祈願家内精出し布袋様
 福引で今年も掴んだ拭くの紙
 亡きひと(夫)が遺してくれた福寿草

山	鮎	十	十	ふ	十	町	荒	箕	高	広	箕	箕	荒	高	十	荒	箕	鮎	つ	山	菖	荒	萩	横	世	滝	浅	浅	鮎	世	大	荒	山	武	高	長
口	貝	王	王	じ	王	田	砥	和	玉	野	和	和	砥	玉	王	砥	和	貝	く	口	蒲	砥	野	須	田	野	立	立	貝	田	瀬	砥	口	蔵	岡	井
詠	渡	横	守	村	松	保	保	樋	橋	新	土	土	土	高	平	鈴	鈴	神	齋	児	小	木	川	大	遠	海	梅	梅	植	糸	五	石	池	安	安	
み	部	沢	谷	上	田	高	科	口	本	野	屋	屋	谷	橋	恒	木	木	保	藤	玉	関	口	部	滝	藤	老	津	木	五	川	田	部	部	部	部	
人	喜	直	勝	桂	久	悦	努	昭	つ	智	敏	灯	朝	ね	人	美	玲	靖	夫	保	弘	と	部	健	八	老	太	英	十	川	武	健	健	健	健	
知	美	太	助	造	一	子		吉	子	耶	子	一	子	子	子	貴	子	夫	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
ら	子	太	助	造	一	子		吉	子	耶	子	一	子	子	子	貴	子	夫	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
ず	子	太	助	造	一	子		吉	子	耶	子	一	子	子	子	貴	子	夫	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子

次回「新」二月二十五日まで。 「休」三月二十五日まで。
 白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

くらしの豆知識 vol.58

除雪機(歩行型除雪機)の事故にご注意ください!



- 事例1** バックで除雪作業中に転倒し、除雪機の下敷きになった。
- 事例2** 除雪機を使って自宅の庭の除雪作業をしていた際、詰まった雪を取ろうと手を入れたところ、急に動き出し、左手の中指を骨折した。エンジンを止めたつもりだったが、止まってなかった。

アドバイス

- ・雪の上は足元が非常に滑りやすいので、後方への移動や斜面で作業する際は、転倒に注意しましょう。
- ・投雪口の雪を取り除く際は、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に止まったことを確認してから、雪かき棒などを使って行いましょう。
- ・周囲の人を巻き込む事故も起きています。作業を行う際は、周囲に人がいないことを確認し、人を絶対に近づけさせないようにしましょう。
- ・転倒したり足を挟まれたりしないよう、足元や周囲に障害物がないことを確認し、無理のない速度で使用しましょう。

地域支援事業サービス についてご紹介します

Ⅱ地域支援事業サービスとはⅡ

65歳以上の介護保険に該当しない方で自立した日常生活を送るために利用できるサービスです。

1. 八乙女げんき塾

【目的】 介護予防や仲間づくり

【会場】 白鷹町老人福祉センター（荒砥地区コミュニティセンター隣り）

【利用】 月曜日～金曜日の週1回（時間は午前10時から午後3時）

【内容】 送迎、健康チェック、昼食、レクリエーション、運動、栄養改善、口腔ケア等

【利用料】 1回700円

2. 元気パワーアップクラブ

【目的】 体力の維持向上やロコモ予防

【会場】 新野医院・デイサービスすがい・みゆき整形外科クリニック

【利用】 週1回（曜日は会場によって異なります）

【内容】 健康チェック、運動、交流等

【利用料】 1回200円

3. いきいき在宅生活サポート事業（ホームヘルプ）

【目的】 一人暮らしや高齢者のみの世帯の方の日常生活自立のための支援

【利用】 週1～2回の生活支援

【内容】 ホームヘルパー派遣による掃除、買い物、食事づくり等

【利用料】 1時間236円

4. 短期宿泊活用地域生活サポート事業（ショートステイ）

【目的】 在宅生活に不安を抱える高齢者が急な家族の不在時（冠婚葬祭等で遠くに出かける場合等）に安心して生活できる環境支援

【利用】 1か月のうち7日間以内

【内容】 介護施設へのショートステイ

【利用料】 1日当たり2,202円～3,486円（食費、滞在費含む）

※施設によって料金が異なります。

5. 地域生活あんしんネットワーク事業（緊急通報サービス）

【目的】 一人暮らし等の高齢者の緊急時に対応できるネットワークづくり

【内容】 急病などの緊急時に簡単な操作で受信センターに通報できる機器の設置による家庭内での安全確保

【利用料】 1月あたり540円（町民税非課税で一人暮らしの方、または高齢者のみの世帯の方）



白鷹町認知症高齢者
見守りネットワーク

**見守り
支え合い**

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

認知症・介護に関するご相談は
地域包括支援センター TEL86-0112

広告

看護師・准看護師・作業療法士・精神保健福祉士 募集

- ・小児科・内科・精神科
- ・児童精神科・老年精神科
- ・神経内科・リハビリテーション科

医療法人杏山会



吉川記念病院

お問い合わせ：吉川記念病院 人事担当までお電話ください

- 吉川記念病院では、看護師さん、准看護師さん、作業療法士さん、精神保健福祉士さんを募集しています
- 准看護師の資格をお持ちの方で看護師を目指している方や看護学校及び准看護師学校へ入学希望の方、当病院の修学資金制度を利用してみませんか



☎ 0238-87-8000



交通事故発生状況 (平成 27 年 1/1 ~ 12/31 までの一年間)

	発生件数	前年比	負傷者数	前年比	死者数	前年比
山形県	6,446	20	8,037	226	57	13
長井警察署管内	203	▲12	273	9	0	▲4
白鷹町	45	▲4	71	10	0	▲1

白鷹町内の交通事故の特徴

- ① 国道・県道の幹線道路での事故が 32 件で町内全体事故の 7 割を占めている。
- ② 事故形態は、車両相互が 39 件でその内 24 件が出合頭の事故で町内全体事故の約 5 割を占めた。
- ③ 重傷事故は 9 件発生 (全て鮎貝地内) し、国道・県道の幹線道路で 6 件、出合頭の事故が 5 件発生。
- ④ 高齢ドライバーが加害者となる事故は前年と比べ減少したが、被害者となる事故がわずかに増加した。
- ⑤ 事故原因は、前方不注意、安全不確認、一時不停止によるものが多かった。

町民課くらし環境係	長井警察署	白鷹西駐在所	白鷹東駐在所
☎ 85-20046	☎ 84-0110	☎ 85-20029	☎ 85-20046

● 視界不良時の安全確認の徹底と徐行
● 道路わきの雪山に隠れた歩行者や車の予測

● 相手に早く気づかせ安全に走行
● 視界不良時は昼間点灯を積極的に!

● 暖かい日の日陰部分
● 雪が少し降った早朝
● ゆるい下り坂、ゆるいカーブ
● わだちや凹凸
● ラッシュユが過ぎた後の空いた道

● 油断しがちな場面! 慎重な運転を
● 暖かい日の日陰部分
● 雪が少し降った早朝
● ゆるい下り坂、ゆるいカーブ
● わだちや凹凸
● ラッシュユが過ぎた後の空いた道

『ゆっくり走ろう! あぶない冬道!』

ドライバーは…



歩行者は…

『油断大敵! 自分で自分を守る!』

● 車から歩行者は見えません
● 道路わきの雪山のかけから急に横断しない
● 足元を気にし過ぎて、車の注意を忘れないように
● 吹雪の中でもしっかりと安全確認

● 家の出入口付近で除雪作業する場合
● 通行車両に注意し、道路にはみ出している作業はしない

※全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用を、家族みんな徹底しましょう。

白鷹山情報

心技体の充実感じる5勝 関取へまた一歩前進!

大相撲1月場所 (1月10~24日)



取組	星取	決まり手
1日目	●	寄り切り
4日目	○	押し出し
6日目	●	上手出し投げ
8日目	○	押し出し
10日目	○	押し出し
12日目	○	寄り切り
15日目	○	押し出し

西幕下7枚目 5勝2敗

今場所を振り返って (白鷹山のコメント)

今場所は久しぶりに5番勝ち星をあげることができ、来場所は5枚目以内も見えてきます。

立会いや心構えなどを、親方や兄弟子たちから教わり、心技体共に充実してきたように感じられます。今年こそ関取に上がれるように、一層精進して行きます。

山形若手アーティスト展 藤倉麻美『パレード』 vol.7



藤倉麻美・作

た「瞬間」をどうぞお楽しみください。

関連事業 ギャラリートーク

パレードの進行方向

藤倉麻美×宮本武典

いつ 3月20日(日)

午後1時30分

どこで ギャラリー

※申込み不要、ただし当日の観覧券が必要

梅津五郎絵画展

成熟と挑戦

いつ 2月6日(土)〜25

日(木)午前9時〜午後5時

どこで ギャラリー

休館日 月曜日(月曜日)

祝日の場合はその翌日

観覧料 一般個人200円

高校生以下無料

主 催 白鷹町文化交流センター

(そば猪口アート公募展と共通)

同時開催

第4回

そば猪口アート公募展

主 催 白鷹町文化交流センター

県内に関係の深い若手アーティストの展覧会シリーズ第7回目は「藤倉麻美」の作品展です。東北芸術工科大学洋画領域を終了後、高校で美術指導を行いながら制作活動を行っています。彼女が高校生たちとの日常生活から写し取つ

ンター、そば猪口アート展実行委員会、安曇野高橋節郎記念美術館

第30回

うたごえ喫茶あゆーむ

いつ 2月28日(日)

午後1時30分より

どこで ホール

演奏 月のカケラ(キーボードとベース)ほか

会 費 500円

(ワンドリンク付き)

定 員 50人

(定員になり次第締切り)

申し込み 申し込み

内容 みんなで一緒に生

伴奏で名曲を歌いましょう。

リンクエストもお受けします。

白鷹町文化交流センターあゆーむ AYU:M

TEL. 85-9071 FAX. 85-9072 E-mail. shirataka@ayu-m.jp URL. http://www.ayu-m.jp/

開館時間

午前9時〜午後5時 ※夜間のご予約がある場合は午後10時まで(ギャラリーを除く)。

3月までの休館日

2/15(月)・22(月)・29(月) 3/7(月)・14(月)・22(火)・28(月)

白鷹町総合型地域 スポーックラブ通信

ROCKUを楽しもう

まもなく

新年度募集開始!!

新年度入会募集開始に向けて各教室へ見学、体験にぜひ、お越しください。

☆社交ダンス

毎週木曜

午後7時30分〜9時30分

場所 中央公民館

(第4木曜のみパワーセンター)

対象 大人

☆けんこう塾

第1・3・5火曜 3B体操

第2・4火曜 ストレッチ等

午前10時〜11時30分

場所 中央公民館

対象 大人、シニア

☆スポーツ吹矢教室

毎週金曜

午後2時〜3時30分

場所 中央公民館

対象 大人、シニア

☆バランスタップ教室

リンパデトックスヨガ

いつ 2月29日(月)

午後7時30分〜8時30分

場所 東陽ホール

対象 どなたでも

☆アドベンチャークラブ

第1・3水曜 サッカー

第2・4水曜 ニュースポーツ

午後7時30分〜9時

場所 白鷹中学校体育館

対象 幼児

☆走りっかクラブ

毎週月・水曜

午後6時30分〜7時50分

場所 中央公民館

対象 小学4年生以上

☆キッズ・なでしこ サッカースクール

毎週月曜

午後7時〜8時30分

場所 東根小学校体育館

対象 キッズ・未就学児男女

☆キッズ・なでしこ サッカー教室

いつ 2月20日(土)

指導 モンテディオ山形

育成普及コーチ他

幼児&低学年女子の部

午前9時〜10時

高学年女子の部

午前10時30分〜12時

場所 東根小学校体育館

持ち物 内ズック、防寒着

ゆめスポしらたか「ROCKU」

事務局教育委員会内

Tel 807-80008

遊びにきてね!



第34回 白鷹スキー場まつり

日時：2月28日(日)

午前9時30分～(開会)

会場：白鷹町営スキー場

▶内容と開始時間

◇開会行事…午前9時30分

◇滑ってゲット(雪上そり)とお楽しみ抽選会
…午前10時

◇ミルクバー…午前10時～

◇空からの贈り物…午前10時30分頃

◇餅つき大会…午前11時30分

※餅のトレイ(100円)をお買い求めください。

▶その他

◇午前9時から午後1時までリフト料金が無料です。(※午後1時から通常料金となります)

◇通行の妨げになる駐停車はご遠慮ください。

※駐車場係員の指示に従ってください。

▶主催 白鷹スキー場まつり実行委員会

■問い合わせ

白鷹スキーセンター ☎87-2456

スキー場まつり実行委員長 ☎87-2018

町観光協会 ☎86-00086
前売券販売・問い合わせ
あゆ茶屋 ☎85-5577
JA山形おきたま白鷹支店
☎85-2121

▼料金 前売券 1000円
当日券 1200円

▼どこで あゆ茶屋

▼いつ 3月5日(土)～6日(日) 午前10時～午後3時

しらたかそばまつり開催

白鷹町そばの里づくり振興

会会員が白鷹山麓の畑で栽培、収穫して手打ちしたこだわりの蕎麦をぜひご賞味ください。

催し

情報
あらかると
Information!
インフォメーション

役場は ☎85-2111

募集

紅花栽培をしてみませんか

白鷹町は、紅花生産量日本一を誇る町で、今年度「日本の紅(あか)をつくる町」連携推進本部を組織し、生産量のさらなる拡大と紅花による観光振興に取り組んでいます。推進本部では、平成28年度の紅花生産量の拡大と、生産者確保を図るため、生産者会議を開催します。紅花栽培に興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

▼いつ 2月22日(月)

午後1時30分から

▼どこで 中央公民館3階大会議室

▼内容 紅花栽培について
堆肥支援について
その他

▼申込期限 2月15日(月)

▼参加料 無料

▼申し込み・問い合わせ

「日本の紅(あか)をつくる町」連携推進本部(産業振興課内)

☎85-6136



元氣ニコニコ軽スポーツのご案内
◇楽しく体を動かしてリフレッシュしませんか。

▼いつ 2月13日(土)

午前9時30分～11時30分

▼どこで 荒砥地区コミュニティセンター ホール

▼内容 ワナゲ、ペタンク

▼持ち物 飲み物、ズック

▼問い合わせ 元氣ニコニコ推進会 平吹 隆

☎080-5221-0942

白鷹町史談会研修会のご案内

今回は、忘れられていた巡礼道「道智道」を、36年ぶりに徒歩でたどりました。その報告と道智道の講演を行います。会員以外の方もぜひご参加ください。

▼いつ 2月13日(土)

午後1時30分～

▼どこで 中央公民館3階大会議室

▼基調講演 原淳一郎 氏

▼報告 伊藤隆 氏(白鷹山岳会事務局長)、志田菊宏 氏(湯殿山神社宮司)、布施

範行 氏(六十里越街道山船

頭協会)

「～放射能を浴びた～X年後」・・・アメリカが1954年に行ったマーシャル諸島ビキニ環礁での水爆実験によって被曝した、第五福竜丸をはじめとする日本の漁船や、第五福竜丸以外の被曝事例を追跡しながら、その裏に隠された日米両政府の機密などを浮かび上がらせていく。

「天に栄える村」・・・2013年3月 震災と未曾有の放射能汚染——。恵まれた自然環境を大切にしながら天栄村の人たちは農業を営んできた。しかし原発事故で放出された放射性物質は、この村にも降り注ぎ、田畑は汚染されてしまった。未曾有の環境破壊を乗り越えようとする農家の人々の苦闘を追ったドキュメンタリー映画。

福島第一原発事故から5年がたとうとする現在だからこそ、この2本の映画を上映し、その後のトークショーで関係者に現在までの天栄村と未来について話していただきます。ぜひ皆様ご鑑賞ください。

▶日時 3月6日(日)

上映開始時間

①「X年後」 午前10時

②「天に栄える村」午後1時30分

※開演は、映画の上映30分前からです。

※トークショーは、「天に栄える村」上映後に行います。

▶会場 白鷹町産業センター(旧パワーセンター)

▶入場料 各500円 ※前売り、当日とも同額 (小学生・中学生は無料)

入場券は、教育委員会、中央公民館、各地区コミュニティセンター、産業センターでお求めください。

■問い合わせ

教育委員会生涯学習・文化振興係

☎85-6146

確定申告が始まります

所得税等の確定申告が、2月16日(火)から始まります。申告期限が近づくと大変混み合いますので、早めの申告をお願いします。

▶期間

2月16日(火)～3月15日(火)

※土日祝日は除く。

▶会場 長井税務署

(旧法務局の場所に移転)

▶注意 譲渡や贈与などのある方は、事前に電話でご確認ください。

■問い合わせ

長井税務署総務課 ☎84-1810

平成27年度山形県木炭講演会

▼いつ 2月19日(金)

午後1時30分～3時30分

☎090-1492-5467

インディアカ協会 守谷

町民インディアカ大会

▼いつ 3月6日(日)

午前9時～

▼どこで 荒砥小学校体育館

▼種目 混成(女子2名以上含)

▼参加料 1チーム800円

▼申込期限 3月1日(火)

■申し込み・問い合わせ

インディアカ協会 守谷

▼参加料 無料

■申し込み・問い合わせ

教育委員会生涯学習・文化振興係

☎85-6146

▼どこで 飯豊町中部地区公民館(中部地区活性化センター)

▼内容 講演

【演題】さまざまな木炭の利用方法と地域振興

【講師】立本英機 氏(千葉)

大学名誉教授(一社)全国燃料協会学識アドバイザー)

▼参加料 無料

▼定員 60名

▼申込締切 2月15日(月)

■申し込み・問い合わせ

山形県置賜総合支庁森林整備課普及担当

☎0238-2616065

FAX0238-216942

アルコール関連問題講演会

▼いつ 3月9日(水)

午後1時30分～3時30分

▼どこで 置賜総合支庁 講堂

▼内容 講演・活動報告

【講演】「アルコールとこころの病気」沼田由紀夫 氏

(社会医療法人公徳会佐藤病院院長)

【活動報告】「アルコール自

助グループについて」日本断

酒連盟 長井断酒新生会

▼参加料 無料

▼申込締切 3月1日(火)

■申し込み・問い合わせ

置賜保健所地域保健予防課精

神保健福祉担当

☎0238-2213015

広告

御法要・各種宴会

大好評 弁当・オードブル 仕出し

幹事さんに大好評 2時間飲み放題コース (ご予約に際しては、ご相談ください) (カラオケ ウービス)

*町内どこでも送迎無料

弁当 ¥1000～ 無料配達いたします

道の駅白鷹やな公園 あゆ茶屋

TEL 0238-85-5577 FAX 0238-85-5640

戸籍の窓

【1月1日～1月31日 届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
新野 健太郎	広野
大井 由紀子	山形市
布川 和浩	鮎貝
高橋 美沙	長井市

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
荒砥乙	大滝 雄介 日生	都 叶
鮎貝	板垣 駿 玲菜	千 宙
滝野	齋藤 誠 香苗	律 佳
浅立	梅津 賢二 沙也香	太 翔
高玉	金田 幸浩 真菜美	滯 翔

お く や み

住所	氏名	年齢
鮎貝	高橋 ゆかり	27
十王	小関 榮子	96
山口	布川 義昭	73
中山	梅津 美智子	91
深山	樋口 忠衛	92
横田尻	佐藤 正幸	65
菖蒲	船山 清吾	85
鮎貝	大滝 春夫	67
荒砥甲	羽田 きよ子	86
深山	羽田 榮吉	77
荒砥甲	海老名 忠三	96
荒砥乙	高橋 貞子	73
横田尻	丸川 武	67
横田尻	丸川 ひろ	91
中山	佐藤 巖	85
鮎貝	神保 達夫	72
荒砥甲	奥山 千代	92
深山	今 さく系	91
荒砥乙	森 末男	83

荒砥乙	丸川 範子	74
十王	佐藤 とみ子	85
荒砥乙	鈴木 美子	86
中山	大滝 き系	86
畔藤	齋藤 ミツ子	80
横田尻	稲毛 利雄	95
荒砥乙	山口 三郎兵衛	85
畔藤	紺野 舞	16



菅 亜貴子さん

昭和60年、「白鷹町深山和紙振興研究センター」がオープン、平成23年頃より紙すき農家が皆無になり、町唯一の和紙生産所となりました。卒業証書や版画、白鷹和紙人形など手工芸品に活用されています。



深山和紙は、昭和45年、工芸技術として町文化財に指定され、昭和50年には、山形県の無形文化財第1号に指定されました。

「強靱でやわらか、温かさの深山和紙」

白鷹の深山は、縄文の遺跡が出土し、国指定重要文化財「深山観音堂」が建つ、歴史のある集落です。いつからか、この深山や近隣集落で紙すきが行われ、「上り紙」として江戸まで送られたとする江戸時代初期の記録があります。明治になると紙すきは、置賜地域で深山地区だけとなり、障子紙が主な用途で、冬仕事として伝統的な技法で多くの工程をこなし、和紙を作っていました。

深山和紙は、昭和45年、工芸技術として町文化財に指定され、昭和50年には、山形県の無形文化財第1号に指定されました。

深山和紙の原料となる楮（こうぞ）。夜も明けきらぬ早朝4時頃から大窯の火加減を調整し、約600キロを3回に分けてふかします。約3時間後、窯を開けると辺り一面は湯気で真っ白に。大人5人がかりで窯から出された楮は、冷水にさらして表皮をはぎ、寒風の下に干されます。こうして、伝統の深山和紙を作るための「伝統の技」は、深山に生きる人たちの手によって守り継がれています。

表紙の写真



▼1月の中ごろからようやく本格的な降雪となり、スキー場や除雪業者の皆さんは安心したのではないのでしょうか？雪があるからこそ撮れる風景もあるので、私も少しホッとしました。

▼新荒砥橋の架替工事が着工しました。58年もの間私たちを支え続けてくれた荒砥橋も、人に例えるともつすぐ還暦を迎えることになりました。新しい橋が完成するまで、もう少しの間がんばってほしいです。

(てつか)

旬の一枚

2月

しらたか旅先案内人さんによる
ワンポイントガイド